

ふくだ

～みんなでつくる ささえあいのまち～

第4次5ヶ年計画
(2023年～2027年)



福田のまちって
どんなまち

3

皆がつながる
まちづくり

7

高齢者への
サポート

15

子育て応援

19

安心・安全な
まちづくり

23



福田地区

家族の絆
見守り・支え合う
まちづくりをめざして

標語



あいさつは 明るい社会の乗車券

差し出す手 小さな手でも「希望の手」

一人じゃない 心の支えが そばにいる

非行の芽 つみとる愛の手 さしのべて

頑張れる あなたが出してくれた手で

せめるより 許す心 思いやり

声かけは みんなの笑顔の 第一歩

勇気ある その一言が 救いの手

思いやる 気持ちと言葉 大切に

ありがとう その一言で 生まれる笑顔

福祉のまちづくりプラン

第4次5ヶ年計画の発行にあたって

福田地区社会福祉協議会 会長 岡平裕次



今日、私たちの地域では一人暮らしや老老介護家庭の増加、心身に障がいを持つ家族との生活が大きな負担となっている家庭、経済的困窮家庭など、様々な問題を抱えている家庭があります。近年では近隣コミュニティの希薄化による孤独死の多発も問題となっています。

こうした中、地域課題解決の最先端に立つ社会福祉協議会は、きめ細かく地域住民の生活実態を把握し、お互いさまの心で助け合い、地域みんなが安心して心豊かに生活できる生活環境の整備に取り組んでいかなければなりません。

この『福祉のまちづくりプラン』は、地域の福祉向上を目指して先輩のみなさんが15年前から創り上げ、実践してきているものです。第2次5ヶ年計画では『隣近所の声かけ・支えあい』、第3次では『みんなで声かけ見守り支え合う笑顔のまちづくり』を掲げて取り組んでこられ、『近隣ミニネットワーク推進事業』、『地区ボランティアバンク活動推進事業』、『ふれあいいいきサロン』などの事業と、この事業への啓発に関わる広報活動を行ってきました。

これらの事業は、社協が旗振り役となって各町内会・自治会、地域団体などでの取り組みを促進し、各地区における健康増進やコミュニティづくりなどに貢献してきております。

そして、このたびの第4次5ヶ年計画では、策定委員会において地域のアンケート調査を行うとともに、可能な範囲での住民ニーズの把握に努め、協議を重ねた上で、このまちづくりプランを策定いたしました。ここで紹介している活動の源は、皆さんが生活している町内会・自治会です。ぜひご熟読いただき、広島市が提唱する『自分たちのまちは自分たちでつくる』を実践し、住んで良かったと思える福祉のまちづくりを実現してまいりましょう。そして、私たちみんなの暮らしを安心・安全で心豊かなものにするため、積極的に地域活動へご参加ください。皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

